

骨塩定量および放射線医学手法による骨折予知法の開発

著者	森田 陸司, 山本 逸雄, 大中 恭夫
発行年	1992-03
その他の言語のタイトル	Development of methods for predicting fractures using radiological modulties
URL	http://hdl.handle.net/10422/6642

骨塩定量および放射線医学手法による骨折予知法の開発

課題番号 02454285

平成3年度科学研究費補助金（一般研究B） 研究成果報告書

平成4年3月

研究代表者 森田 陸 司

（滋賀医科大学 放射線科）

はしがき

研究組織

研究代表者：森田陸司（滋賀医科大学 放射線科）
研究分担者：山本逸雄（滋賀医科大学 放射線科）
研究分担者：大中恭夫（滋賀医科大学 放射線科）

研究経費

平成2年度	6 6 0 0	千円
平成3年度	3 0 0	千円
計	6 9 0 0	千円

滋賀医科大学附属図書館



1990026968

研究発表

学会誌等

- 1 游逸明 他
腰椎骨塩量測定と脊椎骨折閾値
日本放射線医学誌 印刷中
- 2 游逸明 他
DEXA法による全身骨塩量と組織量の測定の臨床的有用性について
日本骨形態計測学会誌 印刷中
- 3 森田陸司 他
骨塩量の測定
最新医学 45:232-236, 1991
- 4 森田陸司 他
骨密度定量法
Modern Physician 11:183-186, 1991
- 5 森田陸司 他
骨塩量の測定と骨粗鬆症の診断
代謝 28:33-37, 1991

学会発表

- 1 游逸明 他
腰椎骨塩量測定と脊椎骨折
第50回日本医学放射線学会総会発表
京都 1991, 4
- 2 游逸明 他
DXA法による全身骨塩量と組織量の測定の臨床的有用性について
第9回日本骨代謝学会総会発表
東京 1991, 7
- 3 増田一孝 他
DEXAによる腰椎側面測定とQCTによる腰椎骨塩量測定の比較
第31回日本核医学会総会発表
松山 1991, 10
- 4 游逸明 他
SPAによる踵骨骨塩量測定と他の骨の骨塩量との比較
第51回日本医学放射線学会総会発表予定
横浜 1992, 4